

SENKO

CORPORATE PROFILE

センコーグループ

Moving
Global

6つの強みで価値ある 物流サービスを ご提供します。

センコーは従来の枠組みを越え、
グローバルに多様な事業を展開してまいりました。
これからも幅広く、より質の高いサービスで
お客様に価値あるサービスをご提供します。
未来を動かすサービスや商品の創造に挑戦し、
真に豊かな暮らしを目指して、社会に貢献してまいります。



センコーグループ



流通ロジスティクス

量販店、小売店、卸会社など、
さまざまな流通業界の物流を担っています。

ケミカル物流

化学品物流における品質と効率化を追求し、
ニーズに最適な対応をします。

住宅物流

長年培ったノウハウで、住宅メーカー向け物流や
住宅資材物流でトップクラスの実績を誇ります。

Moving Global



物流の枠を超え、 価値創造に挑み続ける

1916年、前身の「富田商会」の創業から1世紀。
センコーグループは、常に時代に先駆けた変革に挑戦し、業容と業績を拡大してきました。新たな100年に向かって、
事業を通じて社会の課題解決と新しい価値創造を目指す、センコーグループの挑戦はさらに続きます。



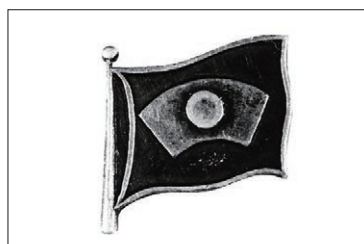
お客様に最適な サプライチェーンを提供する

1916年の創業から今日まで、私たちはその歩みの中で物流ノウハウを進化させ、またサービスの範囲を拡大しながら、
お客様のご期待に応えてきました。物流コンサルティングからシステム設計運営、オペレーションまで、
センコーにはお客様のお悩みに沿った提案ができる強みがあります。

1916 ~

センコーの源流「富田商会」が誕生

1916年、化学工業のコンツェルン、日本窒素肥料の専属物流会社として「富田商会」が誕生。1941年には「日窒運輸」と改組し日本窒素肥料の子会社となりました。戦後の財閥解体政策で日窒運輸は1946年に解散し、新たに扇興運輸を設立。日本窒素肥料のシンボルマークであった“扇”を採用し、“再興”するという志を込めました。



扇興運輸設立当時の社章

1950 ~

輸送体制の整備・拡大

1965年、他社に先駆けコンピュータを導入し、1970年からは物流コンサルタントの養成を開始するなど情報力と提案力を高めていきました。1973年、物流にとどまらないさまざまな事業へ挑戦する決意を込め、社名を「センコー(株)」に変更しました。



1980 ~

総合物流企業への飛躍

1980年から保管・配送・流通加工などの複合機能を持つPDセンターの全国展開を開始しました。また、1985年には大手ホームセンターの業務がスタートしました。1996年、滋賀県に当社の交通安全・物流研修施設「クレフィール湖東」を開設。ドライバーやリフトマンの教育を強化し、現場の品質・生産性向上を図っています。また1981年、米国に現地法人を設立、1996年には中国初の物流センターを開設するなど海外進出が本格化しました。



クレフィール湖東全景

2000 ~

総合物流企業から流通情報企業へ

さまざまな機能を備えた物流センターを国内外に積極展開し、保管面積が大きく増大。またM&Aを本格化し、アパレル・ファッションや冷凍冷蔵輸送などに強みを持つ会社をグループに迎え、提供する物流サービスの多様化を進めました。商事・貿易事業でも、流通商社などをグループに加え、商流・物流一体型サービスを提供するなど、事業領域を拡大させました。



2015 ~

未来潮流を創る企業グループへ

2016年9月、創業100周年を迎えました。また2017年4月、持株会社体制に移行し社名を「センコーグループホールディングス(株)」へ変更するとともに、新たな企業理念を策定しました。物流事業では、海外への物流センター事業の展開を拡大するとともに、物流センターの省人化・機械化を進め、お客様に付加価値の高い物流を提供しています。さらに、物流、商事・貿易に続く第3の柱を育成するため、ライフサポートなどの新分野を強化しています。



提案力を支える強み

多彩な業界ノウハウ

創業以来、多彩な業界の物流業務をお引き受けしており、現在ではチェーンストア、食品、ファッション、ケミカル、住宅、通販、電気機器・機械、医療機器・医薬品など、幅広い物流ノウハウを有しています。

提案力を支える強み

グローバル展開

海外に52カ所の事業拠点を構え、国内と同等レベルの物流サービスのご提供を指向すると共に、国内の拠点ネットワークと連携し、国内外一貫物流を展開しています。

提案力を支える強み

機械化・システム化

ハード面・ノウハウ面のラインアップに加え、約300名の物流SE・情報SEを有していることで、最新のマテハン設備の導入設計、自社開発のITシステムとの連携など、お客様の課題解決につながる包括的な物流提案を実現しています。

提案力を支える強み

国内外に設置している物流センター

延床面積500万㎡を超える物流センターを国内外に設置し、保管・配送・流通加工などの複合機能を備えた拠点として、3温度帯(常温・冷蔵・冷凍)の商品の流通をご支援しています。

提案力を支える強み

多様な輸送モード

トラック輸送、船舶輸送、鉄道コンテナ輸送の3つの輸送モードにより、3温度帯(常温・冷蔵・冷凍)、危険品、重量物、軽貨物まで、多様な貨物輸送に対応しています。





人材育成

プロフェッショナルを 育成する教育土台

当社では社是を掲げ、創業以来、培ってきたお客様のビジネスを支援する基本姿勢は今も大切に受け継がれ、従業員一人ひとりの胸に深く刻み込まれています。

社 是：確 実 [Sure] 迅 速 [Swift] スマイル [Smile]
流通事業の使命を自覚し、つねに最高の技術、最高の能力、最高のマナーをもって、顧客の立場に立って義務の完遂を図る。これが3Sの精神である。

人材育成を支える教育施設

「卓越した現場をつくるためには、まずプロフェッショナルを育成することから」という考えのもと、センコーグループでは物流研修施設を運営しています。

滋賀県東近江市にある日本最大級の施設「クレフィール湖東」では、約27万平方メートルの敷地に、様々なシチュエーションを実車訓練できる自動車交通研修施設や大型自動車・牽引免許取得が可能な教習所、宿泊施設などを完備し、当社従業員は勿論のこと、グループ従業員を中心とした教育を実施しています。また、近年では千葉県流山市にも教育専用施設「クレフィール流山」を設け、教育土台をより一層充実させています。



クレフィール湖東



クレフィール湖東

人材育成を支える多様な教育体系と教育ツール

創業以来、100年を超えて物流事業を担ってきた当社のナレッジは、教育ツールとして蓄積されています。これを基軸として行うプロ人材育成訓練に加え、事業別に求められるコア技能を伝承する訓練、社内認定制度のトレーナー資格を持つ者が各エリアに配置されて行う基礎訓練などを通じ、センコー従業員としてあるべき態度、知識、技能を幅広く浸透させています。

また、永続的に高い現場力を保持するために、経営者や管理監督者の育成にも力を入れており、役職別・年次別の階層別研修や、必要知識を補完する動画学習プログラムを整備し、計画的な育成を進めています。



安全への取り組み

大切にしてきた 安全への想い

当社では安全理念を掲げ、持続可能な物流を提供するために、さまざまな安全基盤を確立しています。

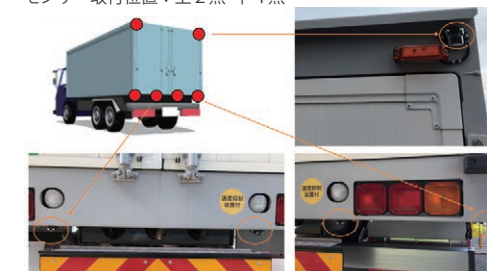
安全理念：「人間尊重」と「すべてに優先する安全」の精神のもと、
『完全0災職場の確保』を実現する

より安全な職場環境への改善

後進運転時、物や設備への接触を回避しようと無意識に足を出してしまい、足を挟まれるリスクなどがあります。足のはみ出しや運転席からの飛び降りを防ぐためにリーチドアを導入し、ケガの防止に取り組んでいます。



センサー取付位置：上2点・下4点



社内技術を集積させた安全教育の徹底

① トレーナー制度

物流品質にかかわる現場作業員の技能レベルを均一化させるため、トレーナー制度を導入しています。自社研修施設「クレフィール湖東」で教育を受けたドライバーやフォークリフトオペレーターがトレーナーとなり、学んだことを広げています。この仕組みが、ドライバーの事故率低減につながっています。



② 技能コンテスト

ドライバーおよびオペレーターの技能向上を目的とした「センコーグループ技能コンテスト」を2006年より開催しています。トラック運転競技、フォークリフト作業競技を行い、お客様に安全・安心を提供するべく、全国の従業員が物流技能を競い合う場となっています。





センコーが目指すGX

GXに積極的に取り組み、 サステナブルな社会の実現を目指す

地球温暖化、水不足、資源・エネルギー制約など、経済活動は地球環境に大きなリスクを与えています。特に今、温室効果ガスの排出削減が求められており、CO₂排出削減と産業競争力向上の両立を目指す取り組み（グリーントランスフォーメーション＝GX）が注目されています。当社はお客様のサプライチェーン全般の脱炭素化を課題、そしてビジネスチャンスととらえ、積極的な取り組みを推進しています。



DXの取り組み

お客様の課題を解決する、 新たなサービスの構築を目指す

労働者不足や配送ニーズの多様化など、多くの課題を抱える物流業界におけるDXは、「ロジスティクス4.0」と言われ、IoTやAIなどの次世代テクノロジーによって、これまでのビジネスモデルを変え社会問題を解決するものとして大きな位置づけとなっています。



長距離輸送におけるモーダルシフト推進

センコーは片道500kmを超える長距離幹線輸送において、トラック、鉄道や船舶を複合的に活用するモーダルシフトを推進しています。モーダルシフトは脱炭素以外にも長距離輸送削減により、ドライバーの働き方改革も推進することで安定輸送の継続も図れます。また海上輸送は自然災害による道路や線路寸断などリスクに強い輸送モードとして推進しています。



ダブル連結トラックの導入

「物流バス」サービスメニューの1つとして、2022年1月に長距離輸送において1人のドライバーが大型トラック2台分の荷物を輸送できる「ダブル連結トラック」の運行を開始しました。大型車2台分を別々に集荷し、2台を連結してセンコーの拠点を出発したダブル連結トラックは、高速道路の長距離区間をドライバー1人が輸送、途中のダブル連結トラックドッキングステーションでドライバーが交代、再び切り離し地点まで1人で輸送し、ドリー式（※）と言われる方法で大型トラック、セミトレーラーの2台に分け、同時にそれぞれの配送先に向かうことで、ドライバーの拘束時間とCO₂排出量のダブル削減に貢献します。

※連結装置（ドリー）によりトレーラーと連結・脱着すること。



DXでお客様の課題を解決

物流サービスをご利用になるお客様の多くは、物流コストやCO₂排出量削減などの課題を解決することに大きな期待を寄せておられます。私たちが目指すものは、「DXでお客様の課題を解決すること」。

センコーでは、お客様のニーズに応える新たなサービスとして、業界初の「全輸送モード・デジタルネットワーク」の構築を目指しています。

その一例が「物流バス予約システム」です。これはセンコー独自の物流ネットワークから、最短のリードタイムやCO₂削減量の情報を提供するもので、お客様が輸送日数、金額、CO₂削減量を一覧で比較でき、その上で最適なルート選択をサポートします。



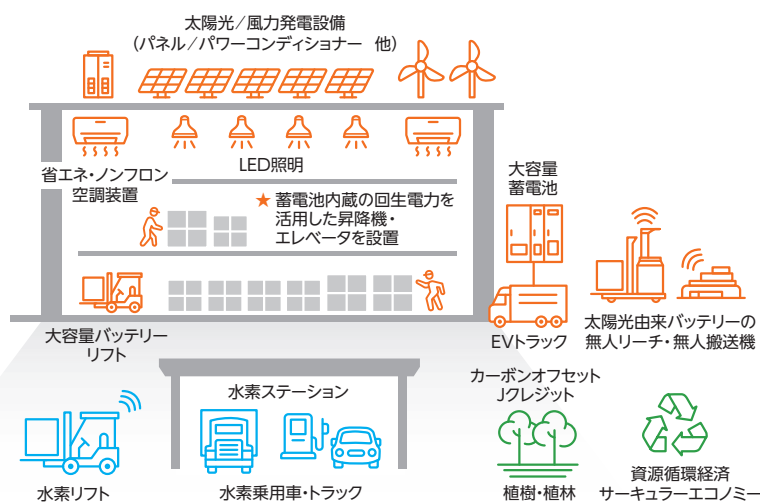
物流バス

センコーが目指す物流の未来

「2050年カーボンニュートラル実現」に向けて、センコーが目指す物流の未来は、環境負荷ゼロの物流。

こちらは、私たちが目指す、CO₂=ZEROの物流センターのイメージです。再生可能エネルギーを活用して物流センターでCO₂を排出しない。次世代自動車を導入し、発電した再生可能エネルギーを活用するなど、センコーではサステナブル社会の実現に向けた変革が着々と進んでいます。

「2050年までにセンコーが目指すCO₂ゼロ物流センター」のイメージ



また、ドライバーの人手不足や労働時間上限規制により「モノが運べなくなる」と言われている昨今、サプライチェーン維持のためには荷主も物流事業者も物流効率化の取り組みが求められています。

センコーはこの課題に対し、中継輸送施設「TSUNAGU STATION」を全国に設け、中継輸送による物流効率化というソリューションをご提供しています。

「TSUNAGU STATION」では、中継場所の提供、積み替え等の荷役作業、配達代行などのサービスを展開しています。

物流DXの観点から、これらのサービスを簡単に利用予約できるよう、WEB予約システムを完備しました。

今後はこの予約システムに貨物と車両のマッチング機能を実装し、利用者がより効率的に最適な輸送手段を選択できるサービスを提供します。

当施設は現在浜松にて運用を開始しており、今後は富士、広島、福島にも開設を予定しています。

「TSUNAGU STATION」は世の中の輸配送を支えるインフラとして、企業の垣根を超えた共同輸配送の実現を目指しています。



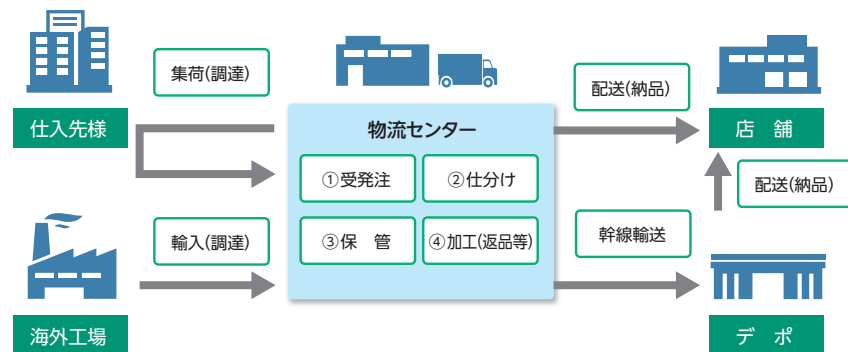
TSUNAGU STATION



サプライヤー物流

流通業のあらゆる業態のお客様に、最適な物流ソリューションをご用意

これまで積み重ねてきた実績をもとに、最適な物流ソリューションをご提供します。食品や医薬品などの保管や消費期限管理、ホームセンター関連の大型商品など、商品特性をふまえ、ニーズにフィットした物流システムをご提案します。さらに、値付けなどの流通加工や定時一括納品など、納品先様のニーズとサプライヤー様の販売活動をきめ細やかにサポートします。



ファッション物流

複雑なサプライチェーンで構成され、ブームやシーズンなどの波動へのタイムリーな対応が必要なファッション業界。また、デリケートなファッション製品は丁寧な取り扱いと、細かな気配りが求められます。センコーは、独自のノウハウを蓄積し、お客様にフィットした物流ソリューションをご提供いたします。

仕入れ、生産から店舗納入、販売まで、工程が多岐にわたるファッション・アパレル業界。

センコーでは、納品代行会社を企業グループ内に擁し、また、検品会社様との連携のもと、物流業務プロセスの一元化や輸送経路の短縮などを実現。お客様の、高品質かつローコストな物流サービスへのご要望にお応えいたします。



グローバル一貫のアパレル生産流通を、情報の「見える化」でご支援

センコーでは、海外の物流拠点においてもITソリューションをご提供しています。製品の輸送進捗および生産状況などのサプライチェーン情報を「見える化」。メーカー様、商社・卸様といったそれぞれの視点、立場において、日々の業務遂行をご支援いたします。

食品物流

リードタイムの短縮や納期厳守が要求され、一方では厳しい温度管理や衛生管理も必要とされる食品物流業界。また、食品物流特有の小ロット多頻度納品、鮮度維持、流通加工、物流波動への対応等お客様のニーズも多様化かつ高度化しています。センコーは独自のノウハウを蓄積し、お客様ごとに最適なサービスを提供しています。

ヘルスケア物流

地域医療の一端を担う事業としてセンコーグループが力を注ぐ分野です。医療・医薬品専門の物流拠点、配送体制を整えるとともに、高度化する医療現場のニーズに応えるべく、「薬機法^(※)」の定める許認可取得を推進。地域の皆様の健康を支える物流サービスを提供し、多くのお客様のお困りごとを解決いたします。

※ 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(旧名称:薬事法)



チェーンストア物流

スーパーマーケット、ドラッグストア、ホームセンターなど量販店のお客様に、物流センターのネットワークと情報システム力で効率的な物流サービスを提供いたします。DCシステムで商品の保管・ピッキングを行い、TCⅠシステムやTCⅡシステムによって細かい仕分けや流通加工にも対応し、VMIで適切な在庫管理をいたします。

チェーンストア様店舗のコスト低減のみならず、サプライチェーン全体のコスト低減・サービスレベルアップ等を実現するなど、お客様のニーズに沿った、最適な物流ソリューションをご提供いたします。



ピースソーター



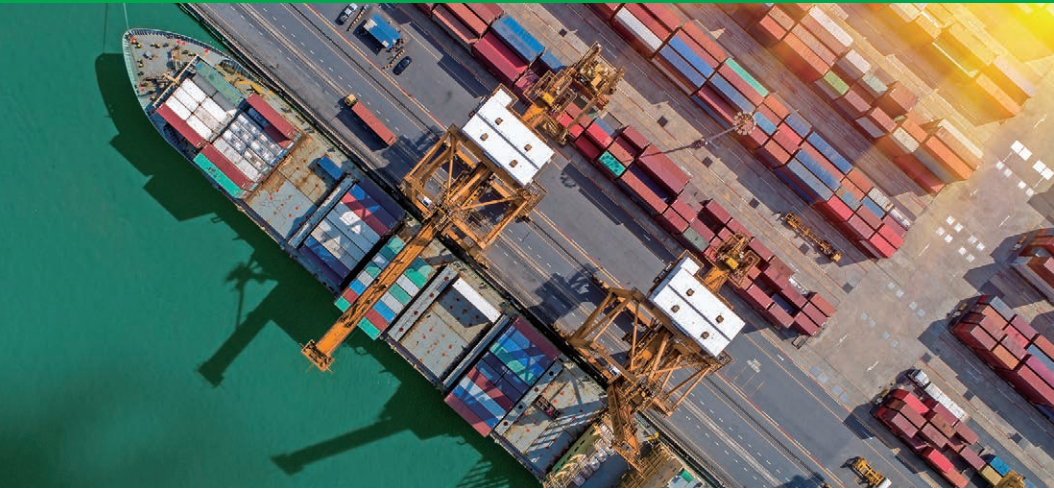
アームロボット

※DCシステム(戦略在庫システム)：チェーンストア様の戦略商品などを保管し、発注指示に応じてピッキングするシステム

※TCⅠシステム(納品代行システム)：仕入先様から集荷、あるいは持ち込まれた商品を物流センターに集約、カテゴリー別(店舗別、部門別、陳列棚別など)に仕分けするシステム

※TCⅡシステム(流通加工システム)：仕入先からアイテム別に総量納品された商品に、検品、値付けなどの流通加工を実施。店舗別、部門別、陳列棚別などのピース単位にアソート、梱包もできるシステム

※VMI(委託在庫管理システム)：顧客の在庫情報や出荷・販売情報を共有することで、物流センター側が在庫を管理・補充するシステム



安定性の高い物流品質と高度な品質管理が求められる時代。 永年にわたるノウハウを活かし、 化学品物流の品質向上と効率化をサポート。

ケミカル製品の輸送や保管には、安定性の高い物流品質と品質管理が欠かせません。また、同時に、環境保全の意識の高まりに応えることが求められます。センコーでは、創業以来100年にわたり蓄積してきたケミカル物流のノウハウを活かし、お客様のニーズにあった、最適なロジスティクスを構築、品質向上と効率化、環境への取り組みを支援いたします。

また、実物流に加え、事務作業の代行サービスを委託いただくことで荷主様がコアビジネスに集中できる環境を整えます。



船舶・鉄道・道路輸送を組み合わせた複合一貫輸送による物流システム

ISO規格のタンクコンテナを利用し、船舶・鉄道・道路輸送を組み合わせた複合一貫輸送による危険品（高圧ガス・火薬類・危険物・毒劇物等）輸送形態提案により、ドライバーの負担減及び、労働時間を軽減します。また、業務の効率化やコスト削減し、安全・品質の安定を実現いたします。

製造工場と納品先様のサイロ間を繋ぐ "パイプライン"の役割を担うのがバルクコンテナ物流システム

製造工場のサイロから、パイプラインを通して、20フィートの「バルクコンテナ」へ充填。納品先様のサイロへは、「バルクコンテナ」のダンプアップにて投入。異物の混入を防止、製品の品質維持を約束します。納品先様への配送は、鉄道・海上輸送にも対応しており、環境への保全を実現します。さらに、輸送ロットの大型化による、輸送・荷役コストの削減が可能です。



危険物・毒劇物の最適な物流システム

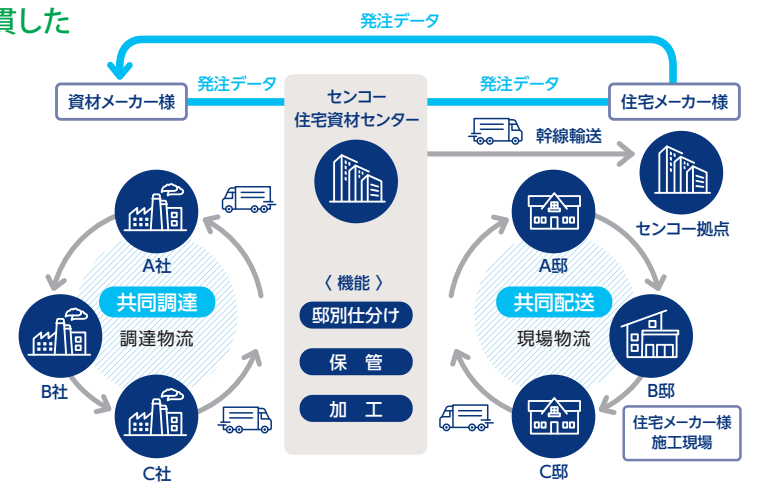
輸配送においては、船舶・鉄道・道路輸送による複合一貫輸送による危険品（危険物・毒劇物等）輸送形態法令に準じた倉庫を各地に保有し、品目に合わせた最適な保管を実現します。

また、センコーグループ内で危険物・毒劇物の取り扱いに長けたセンコーナガセ物流株式会社と協業し、安全・品質の安定を実現いたします。



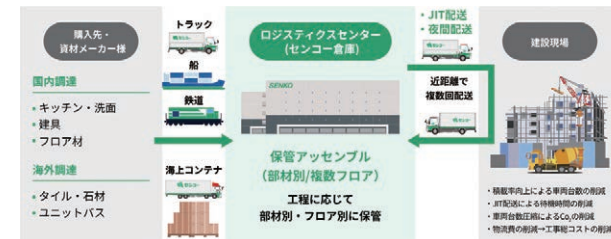
調達から現場配送、そして資材回収まで、一貫した 「共同物流」+「循環物流」サービス

- ・住宅メーカー様及び建材メーカー様の物流を共同で配車するシステムを構築、共同輸配送により、物流効率化とECO物流にご対応いたします。
- ・センコーでは住宅資材センターを活用し、環境省の「産業廃棄物広域認定制度」を取得、運用しているハウスメーカー様向けに収集運搬・分別・一時保管・精選作業等のサービスを提供しています。
- ・調達・集荷・配送の「動脈物流」と収集運搬・廃棄処分の「静脈物流」を一体とらえた「循環物流」を通じて、ハウスメーカー様の抱える環境負荷軽減の課題を物流で支援しています。



ビル建設の進捗に併せ、必要なものを必要なだけお届け！

- ・高層ビルの建設ラッシュがピークを迎える昨今、住宅物流で培ったノウハウをビル建設資材物流に応用しています。
- ・従来サプライヤー様が現場に直接納入されていた資材を、センコーの倉庫にて全てお預かりし、日々変化する納入のスケジュールに的確に対応いたします。
- ・確実な資材調達、情報の一元管理といったセンコーが得意とするノウハウをご体感ください。重量物、長尺物、国際輸送も承ります。



トップクラスの実績とノウハウで競合他社に負けない商品力

- ・住宅物流業界シェアNo.1 & 約60年の豊富な経験・実績による高度なスキル及びノウハウを活かして、施工現場までの安全で確実な配送を提供いたします。
- ・施工現場物流のドライバー研修を継続的に実施することで、高度なスキルとノウハウを持った人材育成をしています。



施工現場物流の高度なスキル・
ノウハウ取得の教育訓練を行っています
現場力を支えるセンコーの物流技術研修施設
『クレフィール湖東』
西日本最大級の交通安全研修所
※大型自動車教習 2016 年開所



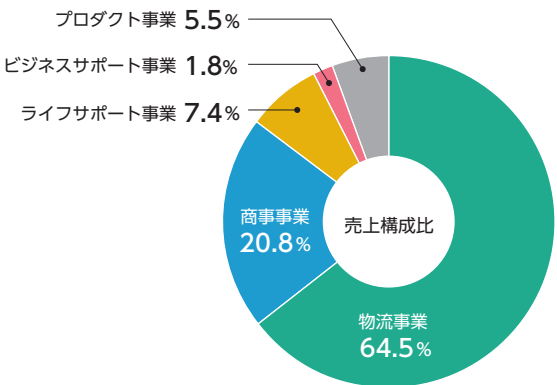
事業概要

商号	センコーグループホールディングス株式会社 (SENKO Group Holdings Co.,Ltd.)
創業	1916(大正5)年9月
設立	1946(昭和21)年7月
資本金	394億83百万円
上場	東京証券取引所プライム市場
売上高	8,546億円(2025年3月期・連結)
従業員数	26,717人
直営車両数	9,498台
支配船舶	88隻
総保管面積	507万㎡
グループ会社数	194社

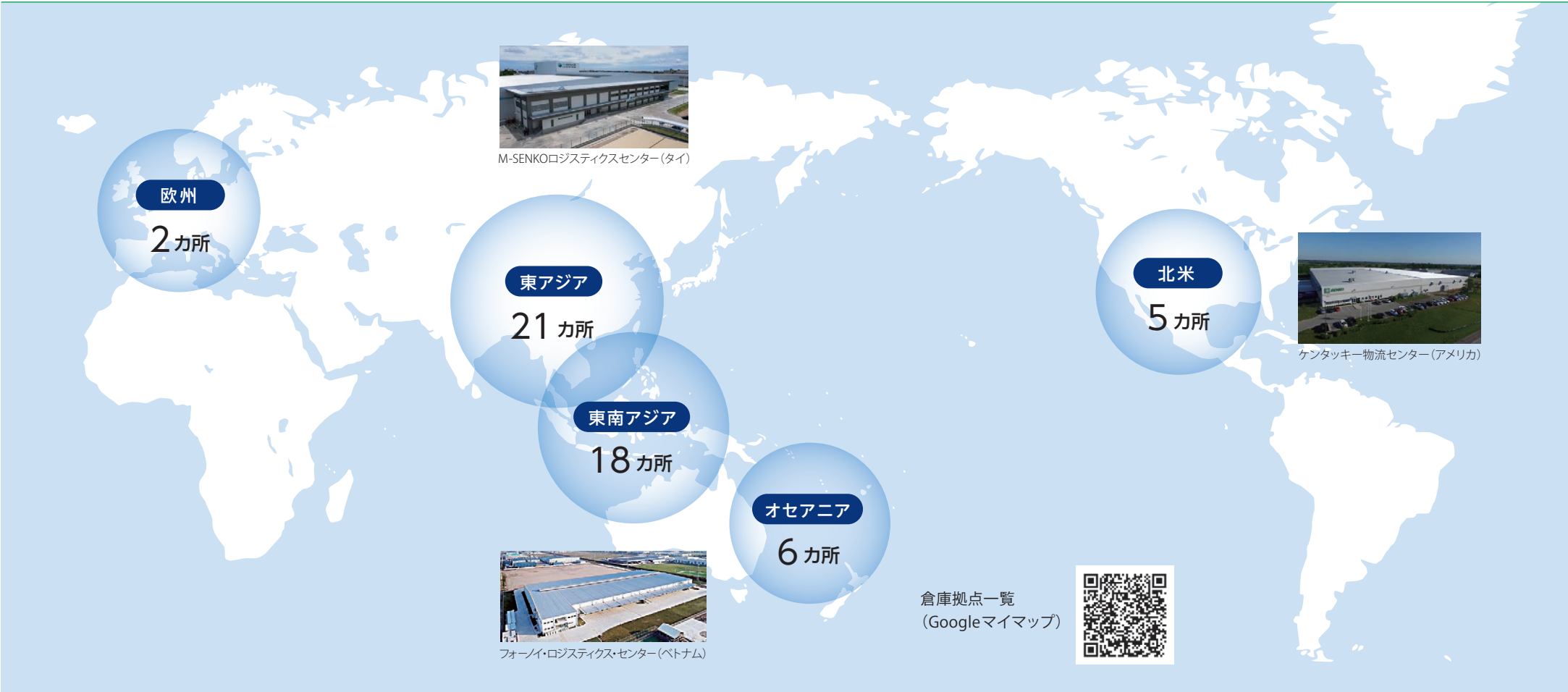
※2025年3月末日現在

グループ会社

物流事業  121社	商事事業  22社	ライフサポート事業  17社
ビジネスサポート事業  25社	プロダクト事業  9社	



グローバルネットワーク



※ 物流事業のみ

主要なグループ会社

国内

センコー株式会社
株式会社ランテック
東京納品代行株式会社
センコーエーラインアマンノ株式会社
日本マリン株式会社
アクロストランスポート株式会社
センコー商事株式会社
株式会社スマイル
アスト株式会社
中央化学株式会社

海外

大連三興物流有限公司
上海扇拡国際貨運有限公司
広州扇拡物流有限公司
Senko International Logistics Pte. Ltd.
AIRROAD LOGISTICS PTY LIMITED
上海斯美樂貿易有限公司
HONG KONG SMILECORP LIMITED
KOREA SMILE CORP LIMITED
SMILECORP VIETNAM CO., LTD.

WEBサイトのご案内



- センコーグループホールディングス株式会社
URL : <https://www.senkogrouphd.co.jp/>



- センコー株式会社
URL : <https://www.senko.co.jp/>



- Instagram公式アカウント
URL : https://www.instagram.com/senko_group.official/



- YouTube公式アカウント
URL : <https://www.youtube.com/@user-ic3up2bf3s>